

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便り

お知らせ

<PPP事業部>

<ファミリープール>

7月1日開園に向けて営業期間中の業務スタッフを大募集中です。

ファミリープールは、7月1日から9月1日までの2か月間、来園される方々が安心して楽しく施設を利用して頂き、また来園したいと思って頂けるよう、毎年、事件・事故の未然防止に努めています。

ご家族、お知り合いで働いてみようという方がいらっしゃいましたら当事業部までご連絡ください。

<広島市留学生会館> (国際交流・国際協力の拠点)

6月の企画事業は、日本文化体験事業として「浴衣着付け体験」や留学生と市民の皆様の交流事業として「I-Café (自国紹介)」(今回はインドネシア)等を実施しました。当会館では年間を通じて様々な企画事業を計画し、一人でも多くの方々に当館を知って頂き、来館して頂く事で国際交流・協力事業についての理解が深まるものと考えております。社員の皆様も、是非ご来館ください。

<広島市中小企業会館>

6月10日(月)、当会館で広島市消防局の指導による普通救命講習会を開催しました。事業所職員全員が受講し、事件や事故が発生した際に迅速かつ適切に応急処置が行える準備をする事が、当会館を使用される方々にとって安心と安全を提供できる最も重要な事であると考えております。今後も引き続き、職員全員で安全意識をもった施設運営を行って参ります。



<SP事業部>

7月は、7(日)日本語能力検定試験(福山ビッグローズ)、10(水)平和の祈り(平和公園)、14(日)広島工業大学オープンキャンパス(広工大)の3件のイベント会場設営を行います。企業の商品説明会、展示即売会、商談会の会場設営以外の設營業務も手掛けています。設営撤去時の事故、怪我を予測し、未然に防ぐ対策を関係者全員が認識できるよう、指導教育を行うことで労働災害を防ぎます。

<クレンリネス事業部>

8月から草津病院で新しい建物の清掃が始まります。社員8名パート5名の体制になり、既存の建物の清掃を含めると総勢22名の大きな物件になります。クレンリネス事業部では現在この稼働に向けて取り組んでいます。よいスタートが切れるよう各現場にも応援をお願いすることがございますので、ご協力をお願いします。

一旦落ち着いたかに思えたコロナウイルスですが、再び感染者が社内でも増えつつあります。感染対策を今一度徹底するようお願いいたします。

<FM事業部>

FM事業部では、今期も設備管理業務はもちろんのことスポット工事にも力を入れています。5月には本通ヒルズテナントの空調機更新工事を受注し、2千万円を超える大規模な工事でしたが無事故で終了することができました。今回の工事は、これからやって来る猛暑時期の空調トラブルを回避するため、使用年数等を考慮し予防のため全台数更新したものです。設備機器の保全には、故障発生後に対処療法として不具合箇所を修理する事後保全と劣化の兆候を点検・運転監視データ・経過年数等により検出し、故障前に手を打つ予防保全に大別されます。予防保全は、故障率の低下・安全性の確保・修理費用の低減等に繋がりますので、日常及び定期点検等により設備機器の劣化状況を早期発見し、初期段階での補修・修繕提案を心がけましょう。

<セキュリティ事業部>

季節も梅雨に入りました。この時期に特に気をつけて頂きたい事は、転倒の防止と熱中症対策です。この時期傘の水滴等で濡れた床面で足を滑らせ転倒することがあります。施設警備員の受傷事故の原因で一番多いのは巡回中の転倒事故です。巡回中の階段の上り下りでは必ず手すりを持つ、タイル面など特に滑りやすい場所では特に気をつけて歩くなど、転倒事故防止に努めてください。

熱中症のリスクについても、湿度の高さから決して油断できるものではありません。小まめな水分補給と日々の体調管理をよろしくお願いします。

<東京支店>

現在公開中で話題となっている映画「帰ってきたあぶない刑事」は、横浜を舞台にしており、当支店で設備管理と清掃を受託しているテナントビル「横浜日活会館」のある伊勢佐木町界隈も場面に登場します。

横浜日活会館は当支店で受託している建物では、東京大学病院に次いで歴史のある建物で、令和6年で築54年になり、古き良き横浜を見続けてきた建物です。それだけの年齢を重ねていますので、特に設備については気が抜けませんが、当社も受託開始から28年の経験値を活かして業務にあたっており、お客様からも信頼のお言葉を頂いています。

この歴史的な建物が長く活躍できるように所長以下の設備管理職員4名が日々努力しています。



<経営管理部>

定額減税が6月分給与より行われますので、給与明細書をご確認ください。また、令和6年6月1日より河毛取締役が常務取締役役に昇任されましたのでお知らせします。

<安全衛生委員会>

7月から全国安全週間が始まります。安全週間は安全に対する意識を高めるための大切な期間となりますが、事故のない安心で安全な職場とするため、安全週間の期間だけでなく、1年を通して事故のない職場にしていかなければなりません。

5S・ABCを徹底して「事故を起こさない」「事故に遭わない」よう安全活動を行うようにしてください。ご安全に！！

<磨種(とぎぐさ)>

芒種の翌朝、令和6年も食糧会館玄関前の田んぼに大家の食協さんの新入社員と段原小学校六年生による恒例の田植えが行われました。田植えを見ながら思い出すのは船舶用ポンプ製造では世界一のシェアを維持する(株)シンコーさんの新入社員による欽明路200キロ徒歩訓練です。岩国から萩の吉田松陰神社までを徒歩で行く、新入社員研修の一環で行われており、筆者が警咳に触れてライトハウスと名付けて敬愛申し上げた故筒井敷三さんが戦後復員され、創業者から望まれて(株)シンコーに入られ、社長就任後に始められたものと聞き及んでいます。今年も4月29日から5月3日にかけて実施したと同社専務にお聞きしましたが、これが体験できた新入社員は互いに励ましあいながら完走した時には固い絆が出来るのだそうで羨ましい企画であると思います。偶然ですが同社専務と田植えを始められた食協理事長は中学・高校の同級生だとか、お二人の繋がりに故筒井さんを通じた不思議なご縁を感じます。

食協さんの田植えも10年以上続けられており、不作の年も豊作の年も携わった新入社員さんは稲づくり・米作りの醍醐味を体験できますので、これも羨ましい企画です。200キロ以上徒歩も半年以上にわたる稲づくり米作りも、思えば太古から日本人が実践体得し伝えてきた風習文化であろうかと考えます。

設立60年を迎えた(株)オオケンの風習文化は何かと問われれば、「5SとABCの実践」だと答えます。「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰」を当たり前的事として実践する、このことがオオケンの風習文化として根付くことを願って、今日も雑巾の心(自分は汚れるが相手の汚れがとれ美しくなる)をもって社会に貢献したいものです。